サポート情報記事

モダン SharePoint Online の RSS: 組み込みの Web パーツがない理由と代わりに使えるもの

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

クラシックの **RSS** ビューアーが行っていたこと 4

モダン ページに **RSS Web** パーツがない理由 4

選択肢の比較 5

選択肢 **1.** リストへの **Power Automate** フロー 7

選択肢 **2.** サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み **Web** パーツ 7

選択肢 **3.** カスタム **SPFx Web** パーツ 8

選択肢 **4. Vitextra RSS Reader** 8

どの選択肢を選ぶべきか 9

用語 10

概要

「**RSS** Web パーツはどこにあるのか?」は、クラシックなイントラネットをモダン **SharePoint Online** のページに移行するチームから最初に寄せられる質問の 1 つです。クラシック ページには **RSS ビューアー**がありましたが、モダン ページには相当するものがなく、ツールボックスで *RSS* を検索しても何も見つかりません。この記事では、その理由を説明し、クラシックの Web パーツが何をしていたかを振り返り、モダン ページで外部フィードを表示する 4 つの実用的な方法 (Vitextra の RSS Reader を含む) を比較して、お客様のケースに合うものを選べるようにします。

メモ

Microsoft の Web パーツに関する記述は、2026 年時点の Microsoft のドキュメントと Tech Community の議論に基づいています。Microsoft はモダン ページのツールボックスを定期的に変更しているため、最新の状態については現在のドキュメントを確認してください。

クラシックの RSS ビューアーが行っていたこと

クラシックの **RSS ビューアー** Web パーツはサーバーでフィードを取得し、XSL テンプレートでアイテムを表示していました。Web パーツごとに 1 つのフィードを表示し、詳細な書式設定は XSLT でカスタマイズできました。フィードは SharePoint サーバーからアクセスできる必要があり、社内のプライベート ネットワークにあるフィードが SharePoint Online から自動的に利用できるわけではありませんでした。

このクラシック Web パーツは、SharePoint Online のクラシック ページには今も存在しますが、モダン ページには配置できません。また、クラシック ページは、モダン ページのようには **Microsoft Teams** やモバイルで表示されません。

モダン ページに RSS Web パーツがない理由

モダン SharePoint ページには、クラシックの RSS ビューアーに相当する組み込み Web パーツはありません。モダン SPFx Web パーツはブラウザーで実行され、クロスオリジンの要求には CORS が適用されます。フィードのホストが SharePoint の

オリジンからの要求を許可しない場合、スクリプトはフィードを直接読み取れません。そのようなフィードはサーバー側のプロキシで取得できます。これは技術的な制約であり、Microsoft　の製品上の判断について文書化された理由ではありません。

関連しているように見える Web パーツは、別のことを行っています。

- **ニュース**は、現在のサイト、ハブ、または選択したサイトの SharePoint ニュース投稿を表示します。外部フィードは表示しません。
- **埋め込み**は、管理者がサイト　コレクションの **HTML　フィールドのセキュリティ**設定で許可した Web サイトの `<iframe>` または埋め込みコードを挿入します。XML フィードを単独で表示することはできません。
- **強調表示されたコンテンツ**と**イベント**は、SharePoint のコンテンツをまとめて表示します。
- SharePoint ニュースと Viva Engage の投稿を集約していた **Viva Connections** のフィード Web パーツは、Microsoft によって廃止されており、RSS を読み取ることはありませんでした。

選択肢の比較

	リストへの	サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み	カスタム **SPFx Web** パーツ	**Vitextra RSS Reader**
仕組み	フローが新しいフィード アイテムを SharePoint リストにコピーし、リスト Web パーツがリストを表示する	外部サービスがフィードを HTML に変換し、埋め込み Web パーツが iframe で表示する	自作の Web パーツが、自分で構築したプロキシ (たとえば Azure Function) を通じてフィードをダウンロードする	Web パーツが Vitextra フィード サービスを通じてフィードをダウンロードし、表示する
1 つのビューに複数の	可能、フィードごとに 1 つ	ウィジェットによる	可能、自分で構築すれば	可能、ソース タブ付き

	リストへの	サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み	カスタム **SPFx Web** パーツ	**Vitextra RSS Reader**
フィード	のフローで同じリストへ			
最新性	フローの間隔分の遅延 (数分から数時間)	リアルタイム	リアルタイム	リアルタイム、1 ～ 7 分ごとの自動更新付き
イメージ、分類、検索	**リスト** ビューで構築したもの	ウィジェットによる。サービスのブランド表示が付くことが多い	自分で構築したもの	あり: イメージ、分類タグ、検索ボックス、3 つのレイアウト
外観	SharePoint のリストまたはニュースのスタイル	iframe 内の外部スタイル、テーマ非対応	設計どおり	SharePoint のテーマ、セクション背景、ダーク モードに従う
Microsoft Teams	タブ内のリスト Web パーツ	タブ内の iframe、ブロックされることが多い	Teams 対応を追加すれば	チャネル タブと個人用アプリ
フィード データの行き先	SharePoint リストへ (永続的に保存)	ウィジェット プロバイダーへ	自分のプロキシ経由	Vitextra フィード サービス経由。ブラウザーのセッションにキャッシュ。SharePoint に

	リストへの	サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み	カスタム SPFx Web パーツ	**Vitextra RSS Reader**
				はアーカイブしない
セットアップの手間	フィードごとのフロー、リスト、ビュー	プロバイダーのアカウント、HTML フィールドのセキュリティでドメインを許可	開発、ホスティング、保守	パッケージの展開、Web パーツの追加、フィードアドレスの入力
継続的なコスト	Power Automate コネクタの制限と実行クォータ	ウィジェットプロバイダーのサブスクリプション	ホスティングと開発者の工数	テナントごとの Vitextra サブスクリプション

選択肢 1. リストへの Power Automate フロー

Power Automate には、RSS 用のトリガー**フィード アイテムが発行されたとき**があります。フローは、新しいフィード アイテムごとに SharePoint リスト アイテム (タイトル、リンク、概要、発行日) を作成し、**リスト** Web パーツがそのリストをページに表示します。アイテムからニュース投稿を作成するチームもあります。

この方法は、アイテムを SharePoint に**保持**したい場合 (検索可能、保持、コメント可能) や、重要なフィードが 1 ～ 2 つだけの場合に適しています。短所は、発行からフローの実行までの遅延、フィードごとに 1 つのフローが必要なこと、個人アカウントで動作するフローの保守、そして表示方法がリスト ビューに限られることです。自分で解析しない限りフィードのイメージは表示されず、ソース タブもなく、クリーンアップしなければリストは際限なく大きくなります。

選択肢 2. サードパーティ ウィジェットを使った埋め込み

Web パーツ

RSS から HTML へのウィジェット ジェネレーターなどのサービスは、**埋め込み Web パーツ**で表示できる埋め込みコードを生成します。結果はリアルタイムで、開発は不要ですが、フィードのコンテンツは外部企業によって iframe 内に表示されます。SharePoint のテーマには従わず、通常はプロバイダーのブランド表示が付くか、それを消すには有料プランが必要で、すべてのサイト コレクションの **HTML フィールドのセキュリティ**設定でプロバイダーのドメインを許可する必要があり、任意のホストからの iframe が制限されている Microsoft Teams では表示されないことがよくあります。

選択肢 3. カスタム SPFx Web パーツ

開発者は、SharePoint Framework で RSS Web パーツを構築できます。Web パーツ自体は少量のコードですが、本当の作業は、CORS を回避するためにサーバー側でフィードをダウンロードする**プロキシ** (Azure Function または Azure API Management の API) に加えて、ホスティング、認証、監視、そして SPFx のリリースに対する Web パーツの互換性の維持です。フィードが社内ネットワーク内でのみ利用可能で、外部サービスを一切経由してはならない場合や、要件が標準的なニュース一覧から大きく離れている場合には、この方法が適しています。

選択肢 4. Vitextra RSS Reader

RSS Reader は、カスタムの Web パーツと同じアーキテクチャ (フィードはサーバー側のサービスがダウンロードし、ブラウザーで表示する) に従う、すぐに使える SPFx Web パーツです。開発もホスティングも必要ありません。編集者はフィードのアドレスと表示名を入力し、コンパクト、ニュースレター、カードのレイアウトを選択し、ソース タブ、分類タグ、イメージ、検索ボックスのオン/オフを切り替え、並べ替え順と更新間隔を設定します。Web パーツはサイトのテーマに従い、Microsoft Teams ではチャネル タブおよび個人用アプリとして動作します。API アクセス許可は不要で、Web パーツ プロパティ以外には何もテナントに保存しません。



ツールボックスとページ上の RSS Reader

できないこと: 社内ネットワーク内からのみ到達できるフィードは、フィード サービスがインターネットからダウンロードするため、表示できません。また、アイテムは SharePoint に保存されません。アイテムのアーカイブが必要な場合は、Web パーツと Power Automate フローを組み合わせてください。

ヒント

セットアップは数分で完了します。KB10367. RSS Reader Web パーツを追加して構成する方法を参照してください。14　日間の無料試用期間中は、すべての機能を利用できます。

どの選択肢を選ぶべきか

- フィード アイテムを SharePoint で**アーカイブし、検索可能にする**必要がある → リストへの Power Automate フロー。
- フィードが**社内専用**である、またはコンプライアンス上、外部サービスの利用が一切禁止されている → 独自のプロキシを備えたカスタム SPFx Web パーツ。
- ページと　Teams　に、フィルターと自動更新を備えた**テーマに従う複数フィードのニュース ブロックを素早く**配置したい → Vitextra RSS Reader。
- 1 つのフィードを 1 つのページに短期間だけ表示する必要があり、外部のブランド表示を気にしない → ウィジェットを使った埋め込み Web パーツ。

用語

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

Power Automate
Microsoft Power Automate は、ユーザーがアプリケーションとサービス間の自動化されたワークフローを作成できる、クラウドベースのサービスです。高度なコーディングの知識がなくても、データ収集、通知、承認などの反復的なタスクやプロセスを自動化できます。

RSS
RSS (Really Simple Syndication) は、Web サイトの更新情報をユーザーやアプリケーションに標準化された機械可読形式で配信するために使用される、一般的な Web フィード形式です。この形式は、ニュース記事、ブログ投稿、その他の頻繁に更新されるコンテンツの配信に広く使用されています。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ
Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

ビュー
ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。

用語

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。